## ○ 名刺の様式に関する訓令

[最終改正 令和6.3.8 京都府警察本部訓令第3号]

京都府警察職員が公務上使用する名刺の様式は、別記の例によるものとする。

附則

(施行期日)

1 この訓令は、昭和42年4月1日から施行する。

	=-
모	I≡⊢
בי כל	ㅁㄴ

## 第1 警察官

- 1 基本様式
  - (1) 本部

電京話都	郵便	警		京
市上京区下	便番号	視	0	都府
'	六〇二—八五	正	部長	都府警察本部
四五一—九一一一内線〇〇〇〇	五五〇	氏		
0		名		

京都府警視 氏 名

勤務先所在地及び電話番号の記載 は、この例による。

京都府警視
監察官室長事務取扱
監察官室長事務取扱

京都府警視 氏 名

(職の事務取扱は、この例による。)

(部の附置機関の長は、この例による。)

京者 床 警 祓	官	京都府警察本部警務部	京都府警視  京都府警視  氏  名
京者庥警衫		京都府警察本部○○部○○課	京都府警部氏
京者床警部	· ( ) ○ □	京都府警察本部○○部○○課	(部の附置機関の副隊長は、この例による。) 京都府警察本部生活安全部少年票 件特別捜査隊 京都府警部 氏
名		甲木	名

京都府警部補 氏 名	京都府警部補 氏 名
京都府警察本部〇〇部〇〇課京都府警部補 氏 名	京都府警察本部○○部○○課京都府巡査部長 氏  名
	(2) 市警察部
京都府警察本部〇〇部〇〇課	京都市警察部企画課長事務取扱京都市警察部企画課長事務取扱
名	名

# (3) サイバー対策本部

(3) サイバー対策本	音)					
	警 視 正 氏	京都府警察サイバー対策本部長		京都府警部補氏名	○○課○○係長	京都府警察サイバー対策本部
(4) 学校						
(4) 学校	京都府警視 氏	京都府警察学校長		京都府警視   氏   名	副校長	京都府警察学校
	京都府警部  氏  名	京都府警察学校		京都府警部補 氏 名	教官	京都府警察学校

	京都府巡査 氏	京都府警察学校				
(5) 警察署	京			京		
	京都府警視	京都府○○警察署長		京都府警視	副署長	京都府○○警察署
	氏	警察署長		氏		<b>警</b> 察署
	名			名		
	京都府警視	京都府○○警察署		京都府警部	○○課長	京都府○○警察署
	○○課長事務取扱	察署		氏		察署
	取 扱 名			名		

京都府警部  京都府警部  氏  名	京都府〇〇響の〇係長
京都府〇〇警察署京都府警部補 氏 名	京都府警部補 氏 名
京都府○○警察署京都府巡査部長 氏	京都府〇〇課〇〇係

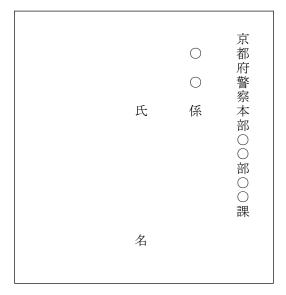
# 2 特例様式

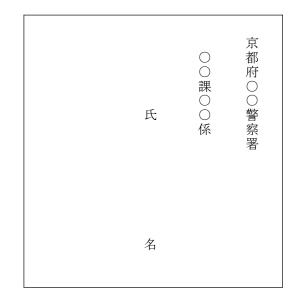
捜査活動に使用する名刺の様式は、別記第1の1にかかわらず、次の例によることができるものとする。

名	氏	部長刑事	名 	氏	主任捜査官	名 	氏	部長刑事
	○課○○係主任	○ ○ 課 ○		任	○○係主任		Έ.	○○係主任
	) 警察署	京都府○○警察署		京都府警察本部○○部○○課	京都府警察		京都府警察本部○○部○○課	京都府警察太
名	氏		名	氏	捜査官	名 	氏	事
	課〇〇係	○ ○ 課		係	0		派	<ul><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li></ul>
	) 警察署	京都府○○警察署		京都府警察本部○○部○○隊	京都府警察		京都府警察本部○○部○○隊	京都府警察本

京都府警察本部〇〇部名	研究所	医牙脊囊 医阴囊 医补色复量
京都府警察本部〇〇部〇〇課	京都府警察本部〇〇部〇〇課	- 『『日子》、『『日子》、『『日子》、『『日子》、『『日子》、『『日子》、『『日子』、『『日子』、『『日子』、『『日子』、『『日子』、『『日子』、『『日子』、『『日子』、『『日子』、『『日子』、『『
京都府警察本部〇〇部〇〇課名	主 () () () () () () () () () () () () ()	

事務主任、技術主任及び主査は、この 例の主任をそれぞれの職に置き換える ものとする。





### 備考

- 1 名刺については、警察職員が使用するものとしてふさわしい、品位を保持したものとする こと。
- 2 名刺の大きさは、縦書きにあっては縦 9 センチメートル、横 5.5センチメートルとし、横 書きにあっては縦 5.5センチメートル、横 9 センチメートルとする。
- 3 紙質は、ケント紙(白色)又はこれと類似のものとする。
- 4 字体は、楷書を原則とする。
- 5 勤務先所在地、電話番号、URL等は、必要により記載することができる。
- 6 私宅住所は、記載しないものとする。
- 7 京都府警察のシンボルマーク、シンボルマスコット等を使用する場合は、別に定めるところによるものとする。
- 8 特例様式の名刺を使用する場合は、別に定めるところによるものとする。
- 9 この様式は、基準を示したものであるから、所属長が職務上必要と認めた場合は、係名、係長以下の補職の省略、文字の配列の変更、裏面使用による外国語の表記等をしても差し支えない。ただし、所属独自のスローガン及び図柄の表記については、警務部警務課長との協議を要するものとする。
- 10 スローガンの表記は、原則として、名刺作成時に推進している活動、業務等に沿った組織的な指針を表記するものとし、時機を逸したと認められる場合は、随時内容を変更すること
- 11 図柄の表記は、原則として、左上部余白を使用し、併用(2点までに限る。)する場合は、一方の図柄にあっては左上部余白を、他の図柄にあっては左上部以外の3隅のいずれかの余白を使用すること。